

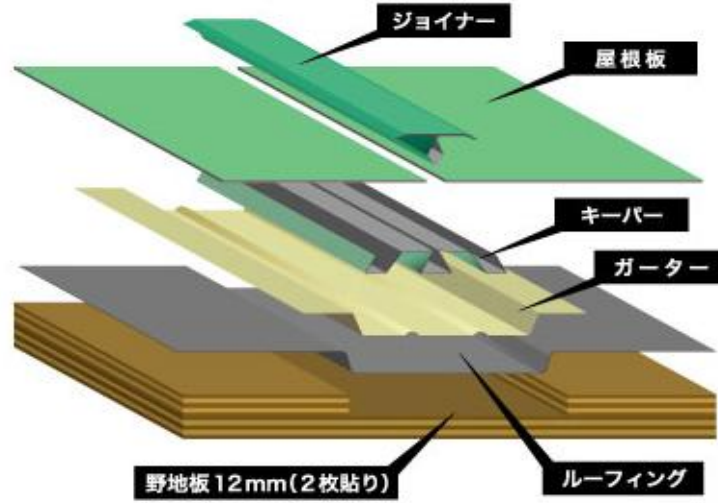
木造バルコニー屋上庭園工法
スカイフロムルール[®]



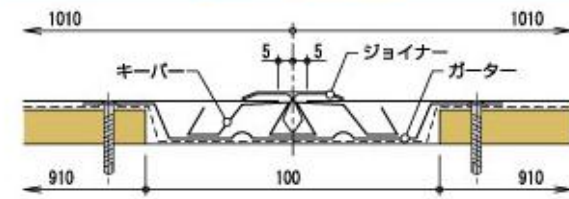
木造バルコニー屋上庭園工法 スカイフロムナールーフ®

金属屋根材には、様々な工法、取付方法がある。金属屋根材のメリットは、長尺整形することによって緩勾配屋根から壁面・天井の外皮を構築することができる。しかし、これらの外皮をつくるにあたり、金属屋根材の継ぎ目は毛細管現象によって雨水などを屋根材の裏面に浸み込ませることがある。スカイフロムナールーフは、金属屋根材の継ぎ手部分の物理的欠陥をガター・キーパー・スプリングジョイナー、スカイフロムナールーフ本体の三点により毛細管現象をシャットアウトする仕組みである。

スカイフロムナールーフは環境を考慮し、FRP防水の様な有害成分を放散する有機溶剤も使用しません。また、風雨に対する防水対策や不燃・耐火性能も万全で様々な形状のバルコニーでも新築時はもちろん、増改築時にも施工可能です。

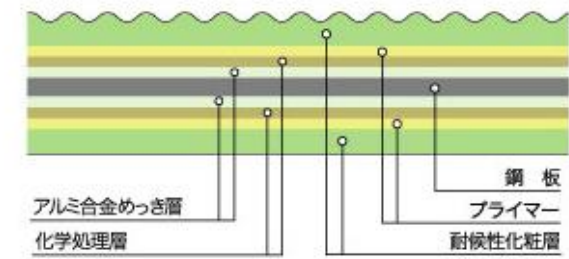


ジョイント部詳細図

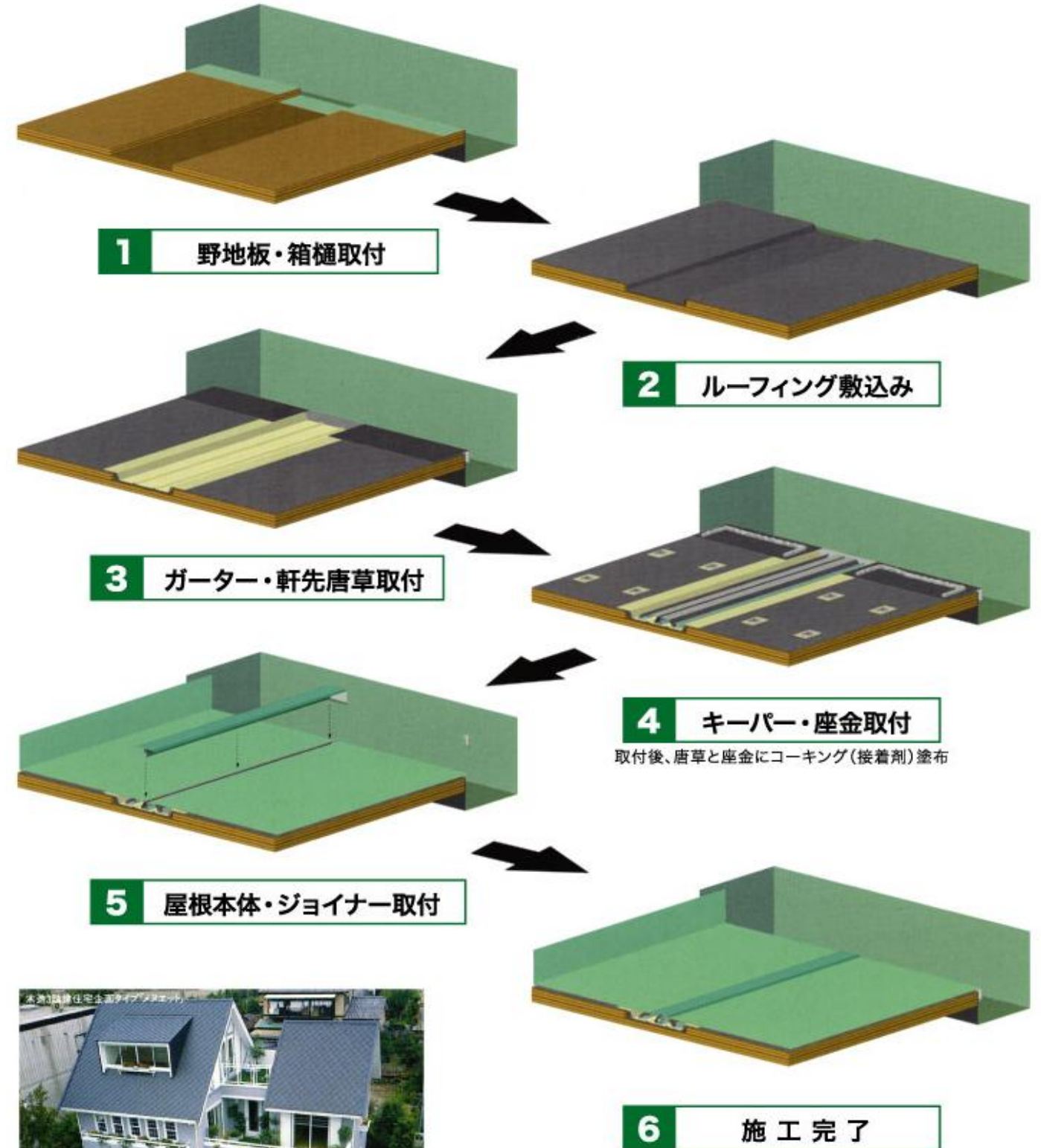


使用素材

スカイフロムナールーフに使用する鋼板は屋根・外装化粧鋼板です。アルミ合金めっき鋼板の表面に化粧層をつけた最高品質の屋根・外装化粧鋼板です。



スカイフロムナールーフ 施工手順



スカイフロムナールーフ。安心・安全4つの性能

耐久性能

安心の10年保証

【大手保険会社との提携による防水保証付きです】

スカイフロムナールーフは初めて施工した1971年から、施工実績を誇ります。これまで幾度も大型台風を経験してきましたが、屋根材への雨水侵入による漏水は皆無でした。また、シート・塗膜防水と違い、メンテナンスフリーです。

水密性試験：平均圧力100kgf/m²において漏水は認められなかった
耐風圧試験：正圧600kgf/m²までの加圧において異常は認められなかった
：負圧844kgf/m²までの減圧において異常は認められなかった 【平成9年9月(財)建材試験センターで行われた試験結果より】

耐火性能

不燃・耐火基準をクリア

【硬質木片セメント板12mm厚使用の場合】

スカイフロムナールーフは不燃材です。建築基準法第22条*をクリアし、国の不燃・耐火認定を取得できます。

*建築基準法第22条

防火地域及び準防火地域の市街地については、耐火建築及び簡易耐火建築以外の屋根は不燃材で造り、また葺かなければならない。

国土交通省 不燃認定 NH-2320
耐火30分認定 FP 030RF-9187

※詳しくはお問い合わせください。

施工性能

スピーディーな施工性

スカイフロムナールーフは乾式工法の為、天候や気温に左右されません。通常のバルコニーであれば1~2日で施工完了、翌日から次の工程に進めます。

環境性能

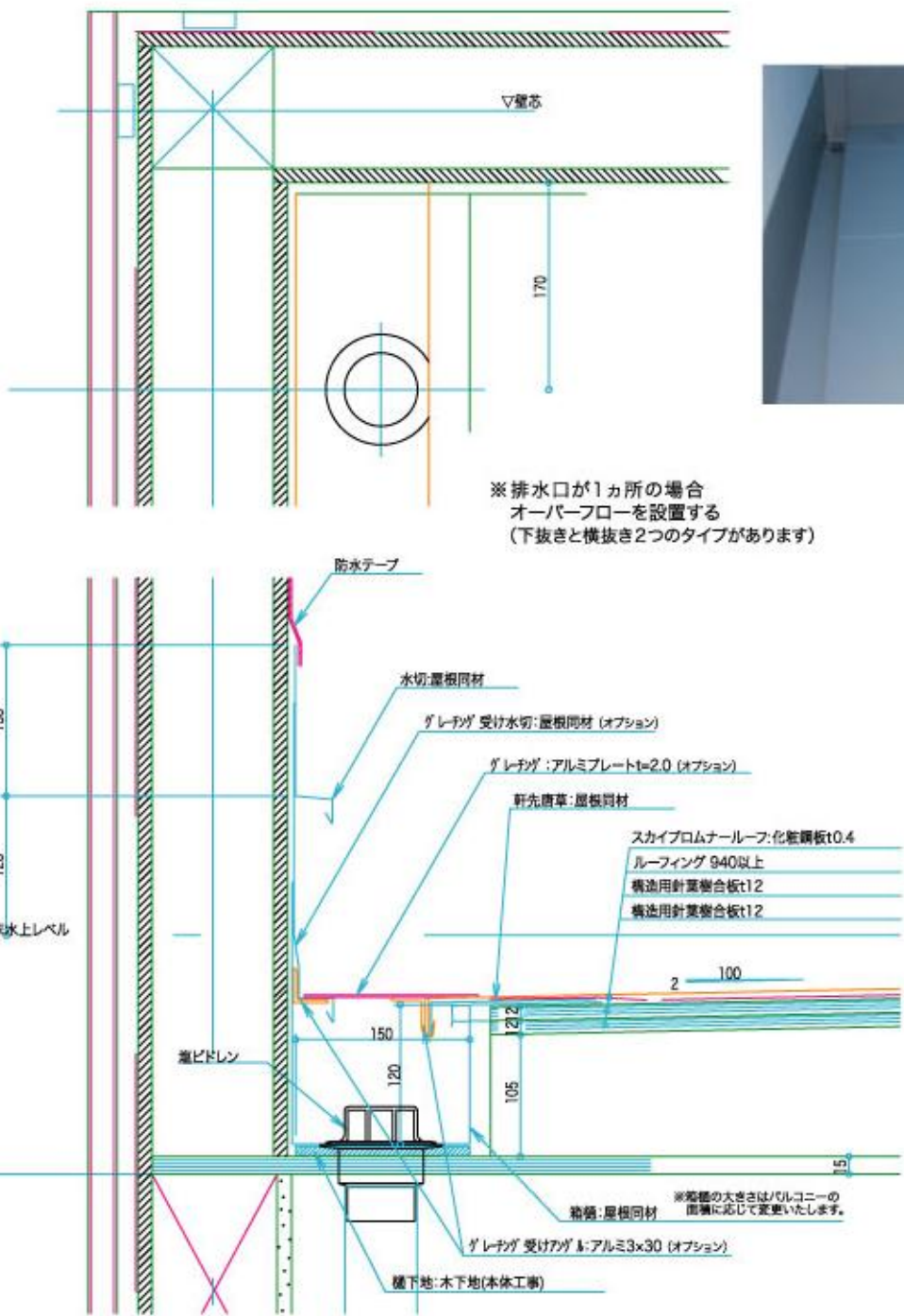
環境問題に対応した工法

スカイフロムナールーフは健康に悪影響を及ぼす恐れのある有機溶剤(トルエン・キシレン等)を使用しない為、近隣への臭気の心配もありません。また、シックハウス対策(VOC対策)において住宅業界ではトップレベルです。

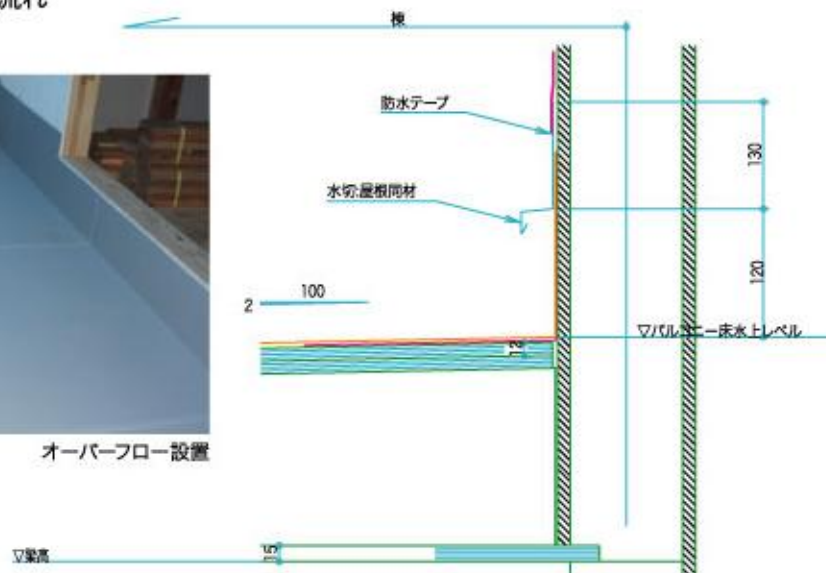


木造バルコニー屋上庭園工法 スカイフロムナールーフ®

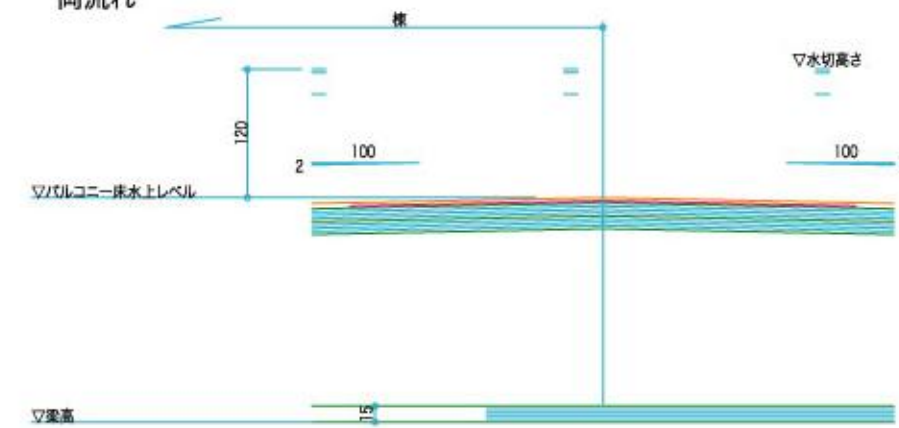
A: 樋部(下抜き)



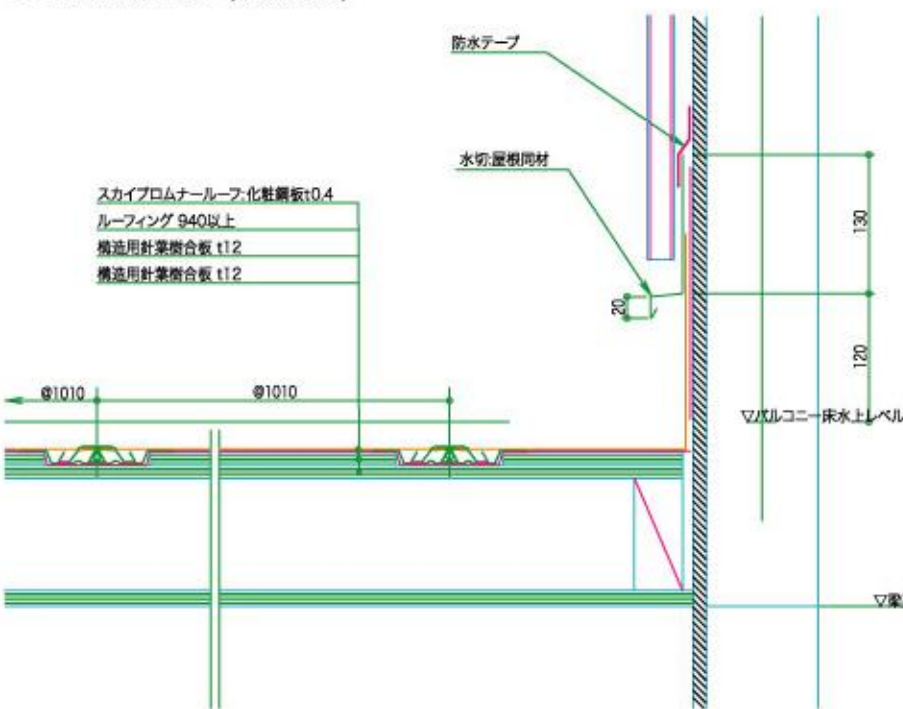
B: 最頂部位置
片流れ



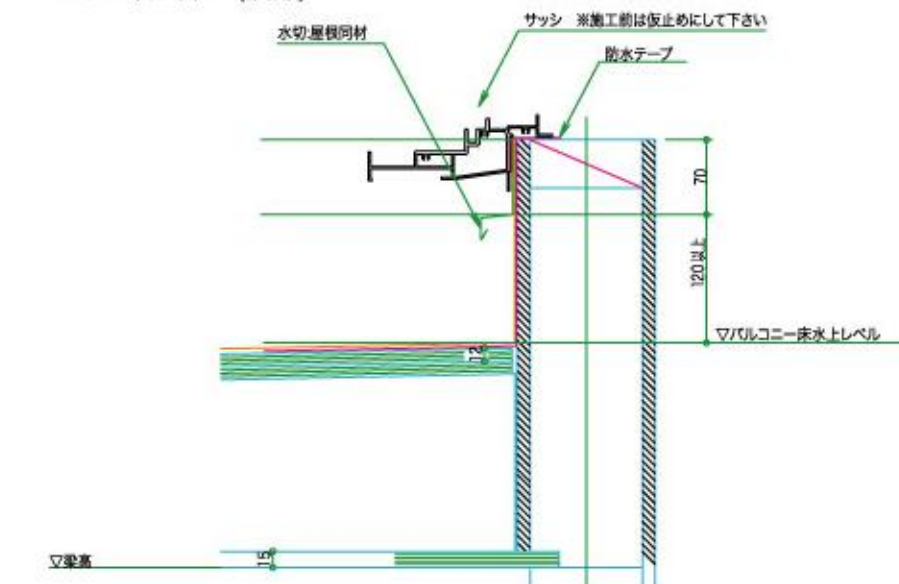
C: 最頂部位置
両流れ



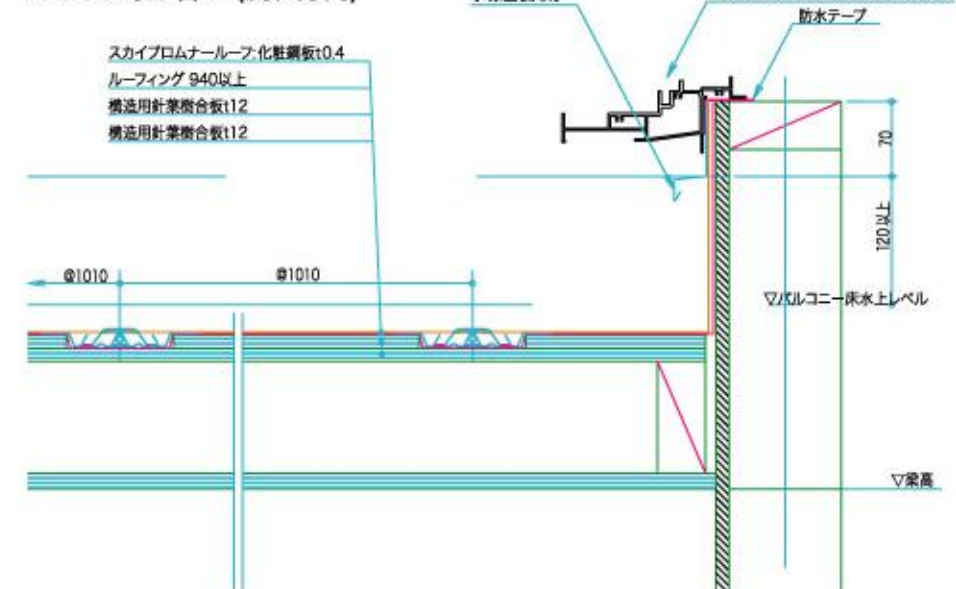
D: 立ち壁取り合い(流れ方向)



E: サッシ取り合い (頂部)



F: サッシ取り合い (流れ方向)



木造バルコニー屋上庭園工法 スカイフロムナールーフ®

- 不燃材です。建築基準法22条に抵触しません。可燃性ではありません。どの地域でもご使用いただけます。
- 30分耐火構造屋根にも認定されています。
(国土交通大臣指定 FP030RF-9187)
詳しくはお問い合わせください。
- 有害物質は含まれていません。
FRP防水などに含まれる人体に有害なトルエンやアセトン・キシレンなど、労働安全衛生法による危険物の取扱はおりません。
硬化剤取扱における事故はありません。
- 乾式工法、軽量で優れた施工性。
全天候下で施工できます。ワンタッチ二重防水システム方法です。
- 優れた物性、経済性。
耐候性、耐蝕性、耐薬品性に優れていますので、ロングライフに確実に対応します。
- 耐風圧・防水性抜群のオープンジョイント工法。
耐風圧850kgf/m²、水密性平均圧力55kgf/m²でももともしません。耐震防水工法です。



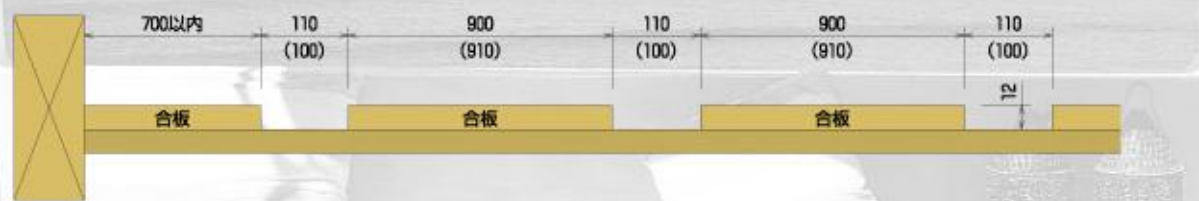
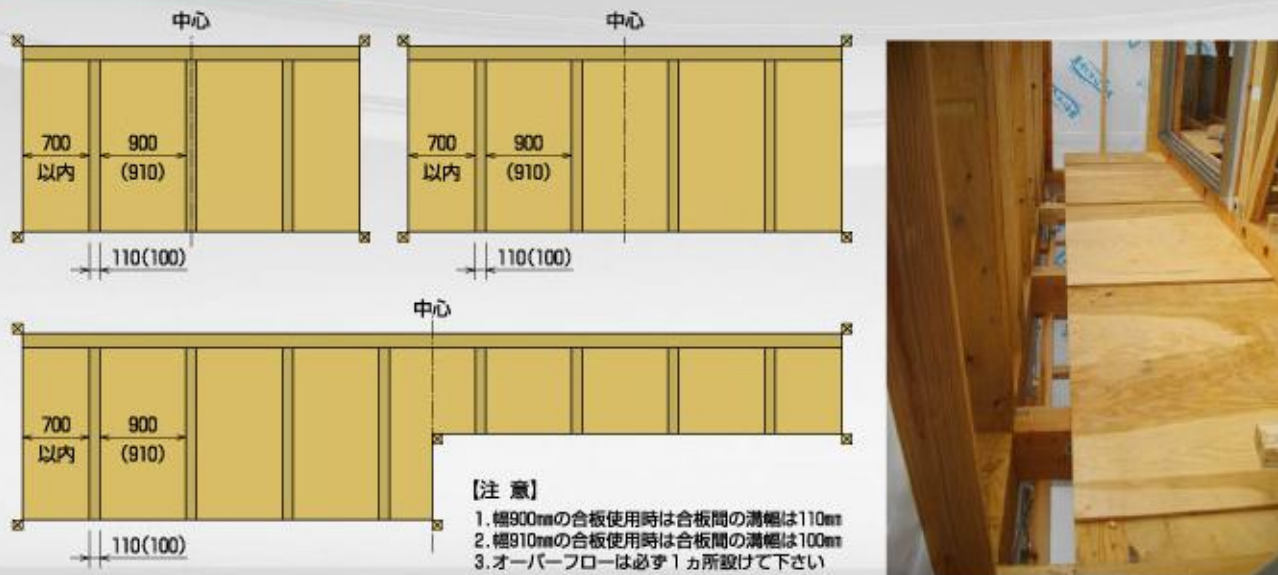
【歴史】1970年頃から日本経済は急速に右肩上がり発展を続け始めた。そのことによって地価も上昇し、「土一升、金一升」といわれるように高騰し始めた。そのために開発者 藤田兼三は、屋根面を眺める屋根ということだけではなく、屋根面を有効に利用し第二の居間として生活空間を提供するという発想に基づいて開発した。歩行できる屋根「フロムナールーフ」と命名された。開発当時は、凹凸の組合せをシステム化して、フラットな面を構築して歩行可能な屋根として発売・施工を始めた。永年にわたる金属屋根施工の技術を元に、金属防水工法を1970年完成、現在に至る。

【名称】お陰さまで、フロムナールーフはバルコニーだけでなく文化ホール・アリーナ・美術館・博物館などの建築空間を覆うように発展し、種類も6種類工法になりました。ここで、バルコニー・ベランダ・屋上庭園工法を「スカイフロムナールーフ」と命名してスタートすることになりました。素材も、開発当時の技術から格段とグレードが上がり、Mタイプ・Kタイプの二種類にて生産・販売しております。

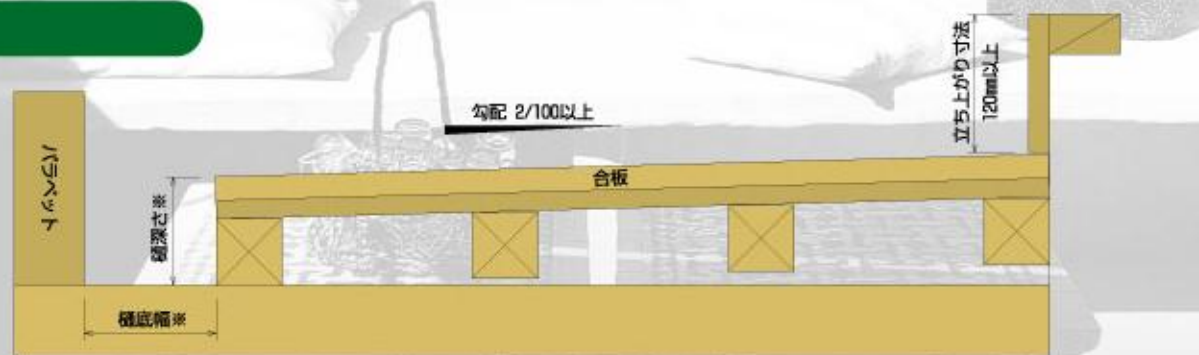
スカイフロムナールーフ 施工例



スカイプロムナールーフ割り付け図



※サッシは施工前は仮止めして下さい。



※箱積の大きさはバルコニーの面積に応じて変更いたします。

無断転写・複写禁止 17.Oct.2012 by Mko Design

EROOF EROOF(イールーフ)株式会社
URL: www.eroof.jp / Email: info@eroof.jp

本 社 — 〒812-0063 福岡県福岡市東区原田4-25-5
TEL: 092-402-2233 / FAX: 092-402-2241

関東営業所 — 〒230-0071 神奈川県横浜市鶴見区駒岡2-17-13
TEL: 045-573-3503 / FAX: 045-583-0927

北関東営業所 — 〒329-0205 栃木県小山市間々田2448-5
TEL: 0285-41-6577 / FAX: 0285-38-7148

お問い合わせは

※別途、施工マニュアルをご用意ください。